

ジオツアーを通じての人材育成と地域振興

Collaboration between scientist and local residents through geo tour

小泉 武栄 [1]

Takeei Koizumi[1]

[1] 東学大・教育

[1] Tokyo Gakugei Univ.

<http://www.u-gakugei.ac.jp/~koizumi/>

日本各地で、現在、ジオパークの活動が進められている。この活動が盛んになれば、野外での市民向けのジオツアーが、今後より多く展開されることになるであろう。その際、それぞれの地域の資源を正しく評価していく事が重要である。奇岩、名勝の類を順に見て回るジオツアーでは、これまでのツーリズムとの差はほとんどない。地域に住む人が、様々な自然現象に対して理解を深めた上でジオツアーを展開していかなければならない。そのためには、特徴的な自然物に対する知識習得だけではなく、普遍的な自然の成り立ちの理解が必要である。その上で、その地域オリジナルの自然環境を発見する作業を地元の人と研究者とが共同で進めて行くことが必要である。

現在、筆者は日本ジオパーク委員会の委員として、ジオパーク候補地の選考に、関わっている。そこで紹介される内容は、火山や地震、災害に関するものが比較的多い。これらの事象は、日本の地学現象としては、特徴的なものであり、その重要性は理解できるが、これらが日本の地学現象の全てではない。地学現象を含む、日本の自然環境の特徴は、地域ごとに大きく異なり、多様なものである。そして、その自然環境をうまく活用して人が暮らしている。このような自然環境の多様性にも目を向け、特徴的なものを取り上げる一方で、普遍的なものも正しく評価していくことが、ジオパーク活動の重要な使命であろう。より広い視野にたって、それぞれの地域の「宝」となるものを研究者と地元の人が共同して発見していくこと大事である。

今後、日本地理学会の活動として、「ジオパーク対応委員会」を組織し、「日本の地形100選」などの資源のリスト化を進めて行く予定である。